

アジア研究所公開講座



※写真は過去対面開催時のもの

活動の概要

- 主催
アジア研究所
- 開催日
令和6年6月29日～7月27日
(全4回・毎週土曜日)
- 開催形式
ハイブリッド、オンライン
- 参加者(一般公開)
学生・教職員、研究者、地城市民

(目的)

令和6年度は「アジアにおける構造的失業と外国人労働」を共通テーマとして開催。
アジア諸国における失業問題や外国人材といった労働社会の現況からアジアを見つめた。

(活動内容・成果)

- ◎第1回「深刻化する韓国の労働力ミスマッチ：外国人労働者の増加と若年待業の深刻化」講師：奥田聰（本学アジア研究所）
 - ◎第2回「デジタル・チャイナの就職難：プラットフォーム経済のリスクと保障」講師：澤田ゆかり（東京外国語大学）
 - ◎第3回「日本の高度外国人材受け入れ：アジアの就職難と人材獲得に向けて」講師：九門大士（本学アジア研究所）
 - ◎第4回「東南アジアのインフォーマル経済を考える：タイの事例から」講師：遠藤環（早稲田大学）
- 以上4つのテーマで講演を行い、国内外から計337人が聴講した。



(今後の課題・目標)

戒厳令発令、トランプ新政権により急変する韓国情勢を国内政治、南北関係、日韓関係、米中との経済関係を切り口に分析・展望する。